



GREEN×EXPO 2027応援企画



©Expo 2027

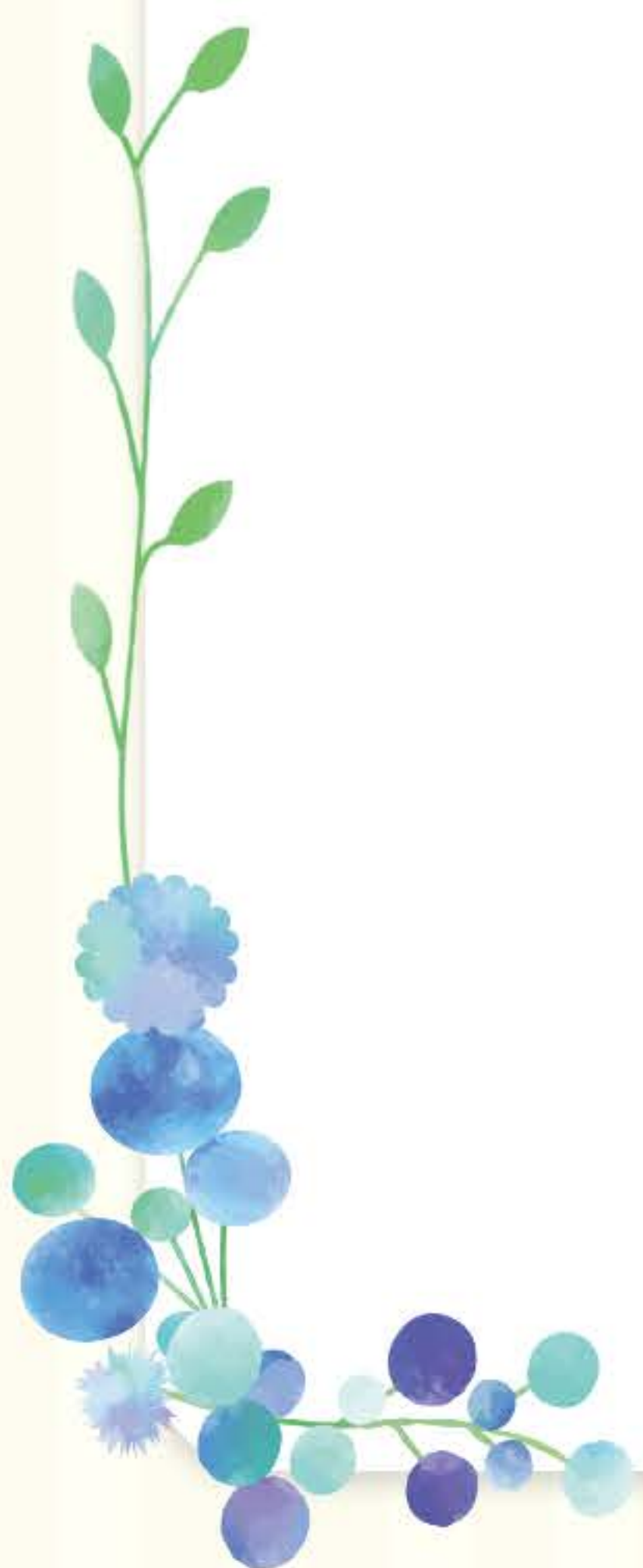


今日から使える 花知識

Flower knowledge

第3回

ドライフラワーの作り方



私たちの暮らしに彩りを与えてくれる花。そんな花をもっと楽しむために、役立つ豆知識をお届けする連載企画。第3回は気に入った花をより長く楽しめるドライフラワーの作り方を紹介します。

ドライフラワーの作り方の 3 ステップ

STEP 1

新鮮なうちに、下準備



花は新鮮なものを使用しましょう。咲ききる前の少し蕾が残っている状態がベスト。茎の先端をカットし、束ねたときに邪魔になる余分な葉や枝を取り除きましょう。風通しをよくし、乾燥しやすくする効果があります。

STEP 2

小さな束にして吊るす



花は3〜5本ずつ小さな束に分けます。多く束ねすぎると乾燥しにくく、カビの原因になることも。束ねた茎の根本をひもや輪ゴムでしっかりと縛り、部屋の隅の壁など直射日光が当たらない、風通しのよい場所に逆さまに吊るします。





1～3週間ほど乾燥させ完成



乾燥は1～3週間程度が目安。花全体がパリパリした状態になり、茎が硬く、水分が完全に抜けたら完成です。吊るしたままでももちろん、花瓶に飾っても楽しめます。湿気や直射日光を避け、風通しの良い場所に飾ると、長く楽しめます。

ワンポイント

花 知 識

ドライフラワーに向いている花と
向かない花



ドライフラワーに向いているのは、比較的茎が硬く、水分が少ない花です。たとえば、スターチス、バラ、ユーカリ、カスミソウなどは初心者でもきれいに仕上がりやすいです。一方、チューリップやヒマワリなど、水分が多く、茎が太くて柔らかい花はあまり向いていません。

プラスアルファの裏技



シリカゲルでつくる鮮やかなドライフラワー

鮮やかな色に仕上げたい場合、乾燥剤のシリカゲルを使う方法がおすすめ。密閉できる容器にシリカゲルを敷き詰め、花の部分だけを置き、花が埋もれるようにシリカゲルをかけ、蓋をして1週間ほど置くだけ。シリカゲルはホームセンターで購入できます。

監修・撮影協力：株式会社日比谷花壇

GREEN × EXPO 2027

～次の万博は、横浜で。～

2027年3月19日から9月26日まで神奈川県横浜市で開催されるGREEN×EXPO 2027は、2025年11月4日に開催500日前を迎えました。日本では1990年大阪花の万博以来、37年ぶりの開催です。世界中から1,000万株の花と緑が集結して「幸せを創る明日の風景」を創り出し、地球規模の課題解決にアプローチします。大阪・関西万博の次は横浜のGREEN×EXPO 2027に足を運んでみませんか。



画像提供：GREEN×EXPO協会